

委員会審議		平成 31 年 3 月 26 日	
申請者		病理診断部長	南 優子
1		院内がん登録・DPC データと病理・放射線診断情報の一元化と活用に関する研究	
研究の概要		<p>(1)背景 院内がん登録は、その蓄積データより、がん患者の診断日、がんの部位・病理組織型、臨床・病理ステージなどの基本情報と、診療報酬請求情報（DPC）をリンクするなどしてその患者の診療内容を研究することが可能となった。既存のがん登録・DPC データに放射線診断、病理情報を突合させた例は世界的に類が無く、これを実現させることでデータの活用範囲は格段に広がり医療の質向上へ寄与する期待が大きい。</p> <p>(2)目的 1. これまでの院内がん登録＋DPC のデータに①放射線画像／レポート、②病理レポート情報を突合し、新たなデータベースを構築する。 2. 突合データを研究参加施設において診療支援・教育に活用可能とするため診療情報検索システムを開発する 今回のデータ提供は病理情報に関する部分のみである。</p> <p>(3)対象及び方法 院内がん登録実施施設 倫理審査承認あるいは施設長の許可がえられた施設 病理データの抽出が可能な施設</p> <p>(4)実施場所及び実施期間 研究許可日から平成 31 年 3 月 31 日まで 国立がん研究センター がん対策情報センター がん臨床情報部</p>	
判定	承認	本審査は全員一致で承認された	